

RSA暗号と素因数分解

林 雄一郎*

1 はじめに

今日、インターネット上の商取引や重要文書の通信セキュリティ、デジタル・ファイルの管理に暗号化ソフトが使われている。これにはRSA暗号方式が使われている。これは、1977年MITのRivest、Shamir、Adlemanのグループが考案したもので彼らの頭文字をとってRSA暗号としてゐる。彼らはこの功績でTuring賞(2002年)を受賞した。この暗号には初等整数論のいろいろな性質や巨大素数からなる巨大合成数が活用されている。もしこの数が意図的に因数分解できればたちまち暗号は解読されセキュリティは破綻する。本稿では、この暗号体系にかかわる整数論や素因数分解問題の話題を提供する。

2 RSA暗号

通信文を数値化して通信 a とする。また、大きな2つの素数 p, q を選び(素数か否か判定が必要)その積 N を定めておく。また、 $(p-1)(q-1)$ (Euler関数 $\varphi(N)$)と互いに素なある整数 r (閉める鍵)を選ぶ。このとき $a^r \equiv b \pmod{N}$ となる b が暗号となる。 N, r は公開される(公開鍵暗号)。受信側は、暗号 b から元の通信 a を復元するには次のような手順が必要となる。

まず、公開鍵 N を素因数分解し、 p, q を知る。一般に、大きな整数の素因数分解は適切な時間(例えば多項式時間)、記憶容量内で処理するのは困難な問題である。これがRSA暗号の安全性を確保している。復元は、 $rs \equiv 1 \pmod{N}$ となる s (開ける鍵)を、 p, q, r を用いて求め、暗号 b を s 乗し、法 N に関する剰余を求める。 $b^s \equiv (a^r)^s = a^{rs} \equiv a^1 = a \pmod{N}$ となる。

3 準備

RSA暗号に用いられる初等整数論の知識を簡単にまとめておく。

(1) 不定方程式が解をもつ条件

不定方程式 $ax+by=c$ が解をもつためには、 $\gcd(a,b)|c$ が必要十分条件である。

(証) 必要条件は明らかである。十分条件は、 $n = \text{Min}\{ax+by | ax+by > 0\}$ とおくと、 $ax+by=m$ となる数 m は n の倍数になる。何故なら、 $m=nq+r$ $0 \leq r < n$ $as+bt=n$ $ax+by=m$
 $r = m - nq = (ax+by) - (as+bt)q = a(x-sq) + b(y-tq)$ n の最小性から $r=0$ となる。

$a = a \cdot 1 + b \cdot 0$ $b = a \cdot 0 + b \cdot 1$ よって、 a, b は n の倍数。つまり、 n は a, b の公約数であるから、

*北海道情報大学情報メディア学科

$d = \gcd(a, b)$ の約数。 $n \leq d$ 他方、 n は a, b の 1 次結合 $as + bt$ と表されているから、 d の倍数となり $d \leq n$ よって $n = d$ したがって、 $d = as + bt$ であり d の倍数 c も a, b の 1 次結合で表される。

(2) Euler の定理、Fermat の定理

Euler の関数 $\varphi(N)$ は、1 から N までの自然数で N と互いに素な数の個数を表す。

$$p \text{ が素数ならば } \varphi(p) = p - 1 \quad q \text{ も素数で } N = pq \text{ ならば } \varphi(N) = (p - 1)(q - 1)$$

(証) 1 から $(N - 1)$ までの数で p, q の倍数はそれぞれ $(q - 1), (p - 1)$ 個ずつあるから

$$\varphi(N) = pq - 1 - (p - 1) - (q - 1) = pq - p - q + 1 = (p - 1)(q - 1)$$

(Euler の定理) 自然数 m 、整数 a に対して $\gcd(a, m) = 1$ ならば $a^{\varphi(m)} \equiv 1 \pmod{m}$

(証) $\{x_1, x_2, \dots, x_l\}$ を法 m に関する既約剰余系とする。 $l = \varphi(m)$ このとき、 ax_i は m と互いに素だから $\{ax_1, ax_2, \dots, ax_l\}$ はまた既約剰余系となる。 $(ax_1)(ax_2) \cdots (ax_l) \equiv x_1 x_2 \cdots x_l \pmod{m}$

$$a^l x_1 x_2 \cdots x_l \equiv x_1 x_2 \cdots x_l \pmod{m} \quad (x_1 x_2 \cdots x_l, m) = 1 \quad a^l = a^{\varphi(m)} \equiv 1 \pmod{m}$$

Euler の定理で $N = p$ (素数) とすれば $\varphi(p) = p - 1$ $\gcd(a, p) = 1$ のとき、 $a^{p-1} \equiv 1 \pmod{p}$

これは Fermat の小定理である。なお、 $x \equiv 1 \pmod{p-1}$ ならば $a^x \equiv a \pmod{p}$ が成り立つ。

(証) $x = 1 + (p-1)A$ とおけば $a^x = a^{(p-1)A+1} = (a^{p-1})^A \cdot a \equiv 1^A \cdot a = a \pmod{p}$

4 s, a を求める計算

$\gcd(r, p-1) = 1, \gcd(r, q-1) = 1$ だから次の 1 次不定方程式は解をもつ。

$$ur + v(p-1) = 1 \quad xr + y(q-1) = 1 \quad 2 \text{ 式から } (u-x)r = -v(p-1) + y(q-1)$$

$\gcd(p-1, q-1) = d$ とすれば、 $d \mid (u-x)$ となる。よって、次の不定方程式は解を持つ。

$w(p-1) + (q-1)t = u-x$ この不定解の一組を w, t とし、 $u - w(p-1) = x + t(q-1) = s$ とおくと、

この s が求めるものである。

$$rs = r(u - w(p-1)) = ru - rw(p-1) = 1 - v(p-1) - rw(p-1) \equiv 1 \pmod{p-1}$$

$$rs = r(x + t(q-1)) = rx + rt(q-1) = 1 - y(q-1) + rt(q-1) \equiv 1 \pmod{q-1}$$

よって、 $rs \equiv 1 \pmod{p-1}$ $rs \equiv 1 \pmod{q-1}$ から $a^{rs} \equiv a \pmod{p}$ $a^{rs} \equiv a \pmod{q}$

したがって、 $a^{rs} \equiv a \pmod{pq} = a \pmod{N}$ となり復元される⁽¹⁾。

なお、 r, s は有限体 Z/pZ において乗法に関して互いに逆元である。

例 $p=11, q=13, n=pq=143, r=7, a=5$ とする。平文は 5、暗号文は $47 \pmod{143}$ である。

$a^7 = 5^7 = 78125 = 546 \times 143 + 47 \equiv 47 \pmod{143}$ 解読を考える。次の不定方程式の特殊解を求める。

$7u + 10v = 1, 7x + 12y = 1$ 拡張された Euclid の互除法を用いて

$$10 = 1 \times 7 + 3, 7 = 2 \times 3 + 1 \text{ から } 1 = 7 - 2 \times (10 - 1 \times 7) = 3 \times 7 - 2 \times 10 \quad u = 3, v = -2$$

$$12 = 1 \times 7 + 5, 7 = 1 \times 5 + 2, 5 = 2 \times 2 + 1 \text{ から}$$

$$1 = 5 - 2 \times (7 - 1 \times 5) = 3 \times 5 - 2 \times 7 = 3 \times (12 - 1 \times 7) - 2 \times 7 = 3 \times 12 - 5 \times 7 \quad x = -5, y = 3$$

$u - x = 8$ より、不定方程式 $8 = 10w + 12t, 4 = 5w + 6t$ の特殊解は $w = -4, t = 4$

そこで $s = u - w \times 10 = x + t \times 12 = 3 + 4 \times 10 = -5 + 4 \times 12 = 43$ $47^{43} \pmod{143}$ が解読した結果 (10 進 72 桁の数) となる。なお、Mathematica で $\text{Mod}[47^{43}, 143]$ の結果は 5 となる。

5 素数の判定

数 n に対して、良く知られた \sqrt{n} 以下のすべての素数で試す Eratosthenes の篩法は、 \sqrt{n} 以下のすべての素数での割り算を試すので効率が悪い。一般に、 $1 \leq k \leq n$ 、 $\text{gcd}(k, n)$ を求める計算回数

は k の 10 進桁数の 5 倍以下となる (Lamé の定理)。例えば $n = 10^{50}$ $m = \lceil \sqrt{n} \rceil$ とすると計算総数

は高々 $5 \sum_{k=1}^m \log_{10} k = 5 \log_{10} m! \approx 5 \log_{10} (\sqrt{2\pi} (m^{m+1/2}) e^{-m})$ (Stirling の公式) これに $m = 10^{25}$ を代入

し計算すると 1.27172×10^{27} 、1 回の互除法の平均計算が 100 億分の 1 秒としても 40 億年かかる。

次に、Fermat の小定理の対偶を用いた方法 (Fermat-test) がある。ランダムに選んだ a ($1 \leq a \leq n-1, \text{gcd}(a, n) = 1$) について、 $a^{n-1} \equiv 1 \pmod{n}$ が成り立つかどうか調べ、成り立たなければ n が合成数となる。

また、直接、素数判定する優れたアルゴリズム Miller-Rabin 法がある。 n は奇数とする。

① n に対して、 $1 \leq b \leq n-1$ である整数 b (底という) をランダムに選ぶ、② $n-1 = 2^s \cdot d$ (d は奇数) となる s, d を求める、③ $b^d \equiv 1 \pmod{n}$ であるか、または、ある r ($0 \leq r \leq s-1$) について $b^{2^r \cdot d} \equiv -1 \pmod{n}$ であるかを調べる、④ 上の条件を満足しない b が見つければ n は合成数であるし、そうでなければ素数である確率は高いことになる。

n は奇素数 $\gcd(b, n) = 1$ $n-1 = 2^s \cdot d$ d は奇数とする。このとき、 $(\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times$ の任意の要素 b に対して、次の (a), (b) いずれかが成り立つ。(a) $b^d \equiv 1 \pmod{n}$ 、(b) $b^{2^r \cdot d} \equiv -1 \pmod{n}$

(証) Fermat の定理より、 $b^{n-1} \equiv 1 \pmod{n}$ $b^{n-1} = b^{2^s \cdot d} = (b^{2^{s-1} \cdot d})^2 \equiv 1$ より $b^{2^{s-1} \cdot d} \equiv 1$ または -1 である。ここで、 $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z}$ は整域だから ($\bar{a} \cdot \bar{b} = \bar{0}$ ならば $\bar{a} = \bar{0}$ または $\bar{b} = \bar{0}$)、 $\bar{x}^2 \equiv \bar{1}$ より $\bar{x} \equiv 1$ または $\bar{x} \equiv -1 = -\bar{1}$ が成り立つ。もし、 $b^{2^{s-1} \cdot d} \equiv -1$ なら (b) が成り立つ。また、 $b^{2^{s-1} \cdot d} \equiv 1$ ならば同様に $b^{2^{s-2} \cdot d} \equiv 1$ または -1 となる。以下、同様の議論を続けると、 $s-1 > s-2 > \dots = 0$ となる。

最後は、 $b^{2^0 \cdot d} = b^d \equiv 1 \pmod{n}$ となり、(a) が成り立つ。(証明終わり) この命題の対偶は、「ある $b \in (\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times$ が存在して、(a), (b) の両方が成り立たないならば、 n は素数ではない」となる。これを確かめるのが Miller-Rabin 法である。 k 回 b を選び調べる試行で、(a) または (b) が成り立ち、 n が奇素数と誤る (この b は “強い嘘つき”) 確率は 4^{-k} 以下であることが分かっている⁽²⁾。

6 巨大数の因数分解

多項式時間のアルゴリズムとは、入力サイズ n に対して、処理時間の上限が n の多項式で表現されるものである。例えば、バブルソートは $n(n-1)/2$ で要素数 n の 2 次多項式となる。

このように多項式時間 (Polynomial time) で決定性アルゴリズムによって解ける問題は P 問題と呼ばれる。他方、NP (Non-deterministic Polynomial time) 問題は次の①、②のいずれかの条件 (この 2 つは同値) を満たす問題の集まりである。① 非決定性アルゴリズムによって多項式時間で解ける、② 確たる証拠が与えられたとき、それが正しいか否かを多項式時間で検証できる。非決定性アルゴリズムはそのプロセスにランダム性を含むものである。NP 問題は $n!$ 、 2^n など階乗・指数時間を要する問題群である。 $P \subset NP$ は成立するが P が真部分集合かどうかという「 $NP \neq P$ 予想」は未解決問題である。NP に属する問題と同じ位難しい問題は NP 困難問題と呼ばれる。

巨大数の因数分解は、従前のアルゴリズムの多く (数体篩法、楕円曲線法など) は決定性アルゴリズムであるが、最も効率の良い方法でも準指数時間 (多項式時間と指数時間の中間) を要するため NP 困難問題であり、多項式時間のアルゴリズムは今のところ求められていない。

例 $2^{19937} - 1$ を mathematica で因数分解してみると別添資料のようになる。これは 6002 桁の Mersenne 素数である。

最近、量子コンピュータが実現し、重ね合わせを用いて超並列計算が可能となっている。1994 年に Shor が量子コンピュータ専用の非決定性アルゴリズムを考案し発表した。

Shor アルゴリズムとその証明は次のようになる。素因数分解したい合成数を n とし、 $n = pq$ かつ p, q は素数と仮定する。① $\{1, 2, 3, \dots, n\}$ からランダムに選び a とおく、② $\gcd(a, n) = 1$ なら③へ行く。そうでないなら①に行く、③ $a^r \equiv 1 \pmod{n}$ となる r を、量子コンピュータで求める、④ r が偶数ならば⑤に行く。奇数ならば①に行く、⑤ $\gcd(a^{r/2} + 1, n), \gcd(a^{r/2} - 1, n)$ を求める、⑥ ⑤ で求めた数のいずれかが n ならば①に戻る。そうでなければこれらの数が求める素因数 p, q となる。

$$p = \gcd(a^{r/2} + 1, n), q = \gcd(a^{r/2} - 1, n), a^r - 1 = nn', n = pp'' = qq'', a^{r/2} + 1 = pp', a^{r/2} - 1 = qq'$$

$$\gcd(p', p'') = \gcd(q', q'') = 1 \quad a^r - 1 = (a^{r/2} + 1)(a^{r/2} - 1) = pp'qq' = nn' = pp''n'' = qq''n'' \text{ これから}$$

$$p'qq' = p''n'', pp'q' = q''n'' \quad p' | n'', q' | n'' \text{ から } n'' = p'q'l \quad p = q''l \quad p \text{ は素数だから } p = q'', l = 1$$

または $p = l, q'' = 1 \quad n = pq$ となる。 $q = p''l$ からも同じ結果が出てくる。(証明終わり)

③では、複数の r 値を選び、それぞれの計算を並行に走らせ (マルチタスク) 成り立つものが出てくれば終了させる木構造の計算となる。また、⑤はユークリッド互除法を使う。このアルゴリズムの計算量は、数 n を 2 進数表示したとき桁数 $\log_2 n$ に関する多項式時間となる⁽³⁾ ことが分かっている。

例えば、 $n = 21$ に Shor アルゴリズムを適用してみる。①で、 $a = 2$ を選ぶと $(2, 21) = 1$ だ

から③に行く。 $2^r \equiv 1 \pmod{21}$ となる最小の r は、 $2^6 = 64 = 3 \times 21 + 1$ なので 6 である。④に行き

r は偶数だから⑤に行く。⑤では、 $2^{\frac{6}{2}} + 1 = 9, 2^{\frac{6}{2}} - 1 = 7 \quad \gcd(9, 21) = 3, \gcd(7, 21) = 7$ よって、 $p = 3, q = 7$ となり因数分解出来たことになる。

7 終わりに

整数論の定理が身近なインターネットにおける通信処理に生かされていることを知れば、数学、特に整数論に対する興味・関心が増すであろうし、数学に対する価値観を改善するきっかけとなる。新数学 A の整数論の授業での話題としてみてはどうか。

参考文献 (1) 一松信：暗号の数理、講談社ブルーブックス、昭和 55 年

(2) 深川久：Miller-Rabin による素数の確率的判定法、大阪市立大学、2002

(3) 栗山、佐野、古市：shor の素因数分解アルゴリズムにおける計算量の精密な評価

統計数理研究所、講究録 1452 巻、2005

添付資料

((43 154 247 973 881 626 480 552 355 163 379 198 390 539 350 432 267 115 051 652 505 414 033 306 801
376 580 911 300 513 629 318 584 665 545 269 938 257 648 835 317 902 217 334 584 413 909 528 269
154 609 168 019 007 875 343 741 396 296 801 920 114 486 480 902 661 414 318 443 276 980 300 066
728 104 984 095 451 588 176 077 132 969 843 762 134 621 790 396 391 341 285 205 627 619 600 513
106 646 376 648 615 994 236 675 486 537 480 201 964 350 295 935 168 662 363 909 047 948 347 692
313 978 301 377 820 785 712 419 054 474 332 844 529 183 172 973 242 310 888 265 081 321 626 469
451 077 047 812 282 829 444 775 022 680 488 057 820 028 764 659 399 164 766 265 200 900 561 495
800 344 054 353 690 389 862 894 061 792 872 011 120 833 614 808 447 482 913 547 328 367 277 879
565 648 307 846 909 116 945 866 230 169 702 401 260 240 187 028 746 650 033 445 774 570 315 431
292 996 025 187 780 790 119 375 902 863 171 084 149 648 473 378 986 267 503 308 961 374 905 766
340 905 289 572 290 016 030 000 571 630 875 191 373 979 555 047 468 154 333 253 474 991 046 248
132 504 516 341 795 551 470 575 481 459 200 859 472 614 836 213 875 557 116 864 445 789 750 886
277 996 487 304 308 450 484 223 420 629 266 518 556 024 339 339 190 844 368 921 018 424 844 677
042 727 664 601 852 914 925 277 280 922 697 538 426 770 257 333 928 954 401 205 465 895 610 347
658 855 386 633 902 546 289 962 132 643 282 425 748 035 786 233 580 608 154 696 546 932 563 833
327 670 769 899 439 774 888 526 687 278 527 451 002 963 059 146 963 875 715 425 735 534 475 979
734 463 100 678 367 393 327 402 149 930 968 778 296 741 391 514 599 602 374 213 629 898 720 611
431 410 402 147 238 998 090 962 818 915 890 645 693 934 483 330 994 169 632 295 877 995 884 993
366 747 014 871 763 494 805 549 996 163 881 541 225 403 465 297 007 721 146 231 355 744 441 493
098 663 065 733 677 191 172 853 987 895 748 167 816 256 084 212 823 380 168 625 334 586 431 254
034 670 806 136 273 543 270 714 478 876 861 861 983 320 777 280 644 806 691 125 713 197 262 581
763 151 313 596 429 547 763 576 367 837 019 349 835 178 462 144 294 960 757 198 918 054 625 114
143 666 384 189 433 852 576 452 289 347 652 454 631 535 740 468 786 228 945 885 654 608 562 058
042 468 987 372 436 921 445 092 315 377 698 407 168 198 376 538 237 748 614 196 207 041 548 106
379 365 133 192 817 999 006 621 766 467 167 113 471 632 715 481 795 877 005 382 694 393 400 403
061 700 457 911 135 349 187 874 888 913 429 349 340 145 170 571 716 181 125 795 888 889 277 495
426 977 149 914 549 623 916 394 014 822 985 025 331 651 511 431 278 802 009 056 808 456 506 818
877 266 609 831 636 883 884 905 621 822 262 913 986 548 645 669 080 672 191 704 744 408 891 349
835 685 662 428 063 231 198 520 436 826 329 415 290 970 752 972 798 343 429 446 509 992 206 368 781
367 154 091 702 655 772 727 391 329 424 277 529 349 082 600 585 884 766 523 180 957 417 077 831
910 016 168 475 685 658 673 192 860 882 070 179 760 307 269 849 987 354 836 042 371 734 660 257
694 347 235 506 301 744 128 874 141 292 438 958 141 549 100 609 752 216 882 230 887 611 431 996
472 330 842 380 137 110 927 449 483 557 815 037 586 849 644 585 749 917 772 869 926 744 218 369
621 137 675 101 083 278 543 794 081 749 894 091 043 084 096 774 144 708 436 324 279 476 892 056
200 427 227 961 638 669 149 805 489 831 121 244 676 399 931 955 371 484 012 886 360 748 706 479
568 669 048 574 782 855 217 054 740 113 945 929 622 177 502 575 565 811 067 452 201 448 981 991
968 669 965 361 551 681 273 982 740 760 138 899 638 820 318 776 303 668 762 730 157 584 640 042
798 890 691 862 840 268 612 686 180 883 874 939 573 818 125 022 279 689 930 267 446 255 773 959
542 469 831 637 863 000 171 279 227 151 406 034 129 902 181 570 659 650 532 600 775 823 677 398
182 129 087 394 449 859 182 749 999 807 223 592 422 334 567 850 671 186 568 839 186 747 704 960
016 277 540 625 321 440 619 019 129 983 789 914 712 525 365 200 336 057 993 508 601 678 807 687
568 562 377 857 095 255 541 304 902 927 192 220 184 172 502 357 124 449 911 870 210 642 694 566
061 384 919 373 474 324 503 966 267 799 038 402 386 781 684 809 962 015 879 090 586 549 423 504
699 190 743 519 551 043 722 544 515 740 967 829 084 336 025 938 225 780 730 880 273 855 261 551
972 044 075 620 326 780 624 448 883 490 998 232 161 231 687 794 715 613 405 793 249 545 509 528
052 518 010 123 087 258 778 974 115 817 848 245 588 971 438 596 754 408 081 313 438 375 502 988
726 739 523 375 296 643 615 501 406 091 607 983 229 239 827 240 614 783 252 892 479 716 519 936
989 519 287 808 681 221 191 641 747 710 902 480 633 491 091 704 827 441 228 281 186 632 448 907
145 787 138 351 234 842 261 380 074 621 914 004 818 152 386 666 043 133 344 875 067 903 582 838
283 562 688 083 236 575 482 068 479 639 546 383 819 532 174 522 502 682 372 441 363 275 765 875
609 119 783 653 298 312 066 708 217 149 316 773 564 340 379 289 724 393 986 744 139 891 855 416
612 295 739 356 668 612 658 271 234 696 438 377 122 838 998 040 199 739 078 061 443 675 415 671
078 463 404 673 702 403 777 653 478 173 367 084 844 734 702 056 866 636 158 138 003 692 253 382
209 909 466 469 591 930 161 626 097 920 508 742 175 670 306 505 139 542 860 750 806 159 835 357
541 032 147 095 084 278 463 056 701 367 739 794 932 024 202 998 707 731 017 692 582 046 210 702
212 514 120 429 322 530 431 789 616 267 047 776 115 123 597 935 404 147 084 870 985 465 426 502
772 057 308 980 333 847 905 334 250 604 119 503 030 001 704 002 887 892 941 404 603 345 869 926
367 501 355 094 942 750 552 591 581 639 980 523 190 679 610 784 993 580 896 683 299 297 681 262
442 314 008 657 033 421 868 094 551 740 506 408 829 039 207 316 711 307 695 131 892 296 593 509
018 623 094 810 557 519 560 305 240 787 163 809 219 164 433 754 514 863 301 000 919 916 985 856
242 176 563 624 771 328 981 678 548 246 297 376 249 530 251 360 363 412 768 366 456 175 077 031
977 457 534 912 806 433 176 539 995 994 343 308 118 470 147 158 712 816 149 394 421 276 614 228
262 909 950 058 746 981 053 206 610 001 560 295 784 656 616 193 252 269 412 026 831 159 508 949
671 513 845 195 883 217 147 982 748 879 261 851 417 819 979 034 417 285 598 607 727 220 866 677
680 426 090 308 754 823 803 345 446 566 305 619 241 308 374 452 754 668 143 015 487 710 877 728
021 086 004 328 892 262 259 413 968 285 283 493 045 571 062 757 701 421 761 565 262 728 153 407
407 625 405 149 931 989 494 459 106 414 660 534 305 378 576 789 862 520 049 864 880 961 144 869
258 603 473 714 363 659 194 013 962 706 366 851 389 299 692 869 491 805 172 556 818 508 298 824
954 954 815 796 063 169 517 658 741 420 189 798 754 273 428 026 723 482 481 263 569 157 307 213
153 739 781 041 627 653 715 078 598 584 184 797 287 663 122 946 711 348 158 529 418 816 432 825
044 466 692 781 137 474 494 898 385 064 375 787 507 376 496 345 148 625 306 383 391 555 145 690
087 891 955 315 994 462 944 493 235 248 817 599 907 119 135 755 933 382 121 706 191 477 185 054
936 632 211 157 222 920 331 148 502 487 563 303 118 018 805 685 073 569 841 580 518 118 710 778
653 953 571 296 014 372 940 865 270 487 021 924 383 167 280 323 231 567 912 289 419 486 240 594
039 074 452 331 678 019 381 871 219 092 155 460 768 444 573 578 559 513 613 304 242 206 151 386
457 513 937 270 935 009 707 237 827 101 248 883 837 678 338 161 023 397 586 864 894 230 696 091
540 249 987 907 453 461 311 923 963 852 950 754 758 058 205 625 956 600 817 743 007 191 746 812
655 955 021 747 670 922 460 866 747 744 520 875 607 859 062 334 750 627 098 328 593 480 067 789
456 169 602 494 392 813 763 495 657 599 847 485 773 553 990 957 557 313 200 809 040 830 036 446
492 219 809 934 096 548 730 547 494 301 216 165 686 750 735 749 555 882 340 303 989 874 672 975
455 060 957 736 921 559 195 480 815 514 935 915 705 129 930 057 027 117 286 252 843 197 413 312
307 617 884 797 506 784 160 195 436 760 305 890 340 708 481 464 607 278 955 495 487 742 140 753
570 621 217 198 252 192 978 869 786 916 734 625 618 430 175 454 903 864 111 585 429 504 569 920
905 636 741 599 030 968 042 471. 1))